

経営体の概要

- ・所在地：岐阜県揖斐郡大野町
- ・経営体名 川合農事組合法人
- ・栽培作物・作付面積：水稲 28ha
小麦 26.8ha
大豆 27ha
- ・従業員数：12名（常勤2名、パート10名）
（令和6年4月現在）

導入技術

- ・クラウド対応乾燥機 2台
（サタケ製、SDR5000X、SDR35MP3）



クラウド対応乾燥機

KSASと連動しており作業記録は自動的に作成

荷受履歴一覧			
荷受番号	荷受日時	作付計画	収穫量
R0010	10/19 16:30	2021ハツシモ	5,000.0
R0009	10/15 07:51	2021ハツシモ	5,000.0
R0008	10/09 16:29	2021ハツシモ	5,000.0
R0007	10/05 00:42	2021ハツシモ	5,000.0
R0006	09/28 17:13	2021ハツシモ	5,000.0
R0005	09/20 16:58	2021コシヒカリ	5,000.0
R0004	09/15 18:00	2021コシヒカリ	5,000.0
R0003	09/12 01:14	2021コシヒカリ	5,000.0
R0002	09/07 11:00	2021コシヒカリ	5,000.0
R0001	09/06 09:36	2021コシヒカリ	5,000.0
			50,000.0

導入経緯

- 当経営体では収穫から乾燥調整までの作業において、①乾燥機の稼働率に無駄がある、②夜間の作業負担、③作業記録作成に時間が取られる、などの課題があった
- 当経営体では平成28年にクラウド生産管理システム（KSAS）、収量コンバインを導入しており、さらなる収穫・乾燥の一連作業の効率化を図るため、令和3年にクラウド対応乾燥機を導入した
（県単：スマート農業技術導入支援事業）

取組の特徴・効果

- クラウド対応乾燥機を導入し、収穫・乾化作業の効率化を実現
- 収穫の際に乾燥機の空状況や乾燥終了時刻が遠隔で把握できるため、計画的な収穫が可能
- 夜間に籾の水分量や燃料の確認作業が自宅で可能となり従業員も省力化を実感
夜間の作業日数：導入前5日→導入後0日
- 作業記録が自動的に作成されるため、日報作成の時間が不要となり、労働時間が縮減
作業記録の作成：導入前10日→導入後0日
- 今後、全てクラウド対応乾燥機とし、導入済みの収量コンバインと連動させ更なる収穫・乾化作業の効率化を図る